

平成18年11月 定例教育委員会 会議録

平成18年度塩尻市教育委員会11月定例会が、平成18年11月21日、午後3時15分、塩尻市立塩尻中学校に招集された。

会 議 日 程

- 1 開 会
- 2 前回会議録の承認
- 3 教育長報告
報告第1号 12月の行事予定等について
報告第2号 後援・共催について
報告第3号 塩尻市生涯学習プランⅡについて
報告第4号 第20回全国短歌フォーラム in 塩尻参加状況について
- 4 議事
議事第1号 塩尻トレーニングプラザの指定管理者の指定について
議事第2号 教育委員会関係補正予算について
- 5 その他
その他第1号 塩尻市体育館建設研究委員会設置要領について（追加案件）
- 6 閉 会

○ 出席委員

委員長	百 瀬 哲 夫	委員長職務代理者	丸 山 典 子
委員	岡 本 た ま	委員	村 田 茂 之
教育長	藤 村 徹		

○ 説明のため出席した者

こども教育部長	赤 羽 修	こども教育部次長	丸 山 保
こども課長	中 島 誠	生涯学習部長	武 居 和 雄
生涯学習部次長	神 戸 保	社会教育課長	白 木 進
平出博物館長	小 林 康 男	スポーツ振興課長	竹 原 次 男
男女共同参画課長	山 田 昭 文	人権推進室長	青 木 弘 貴

○ 事務局出席者

教育企画担当課長	小 島 賢 司	学校支援係長	羽 多 野 紀 子
----------	---------	--------	-----------

1 開 会

百瀬委員長

ただいまから11月の定例会教育委員会を開催します。先ほどまで寒い体育館でこんにちは教育委員会を開催しております、身体がこわばっておりますがだんだんウォームアップされると思いますのでよろしくお願いいたします。

2 前回会議録の署名

百瀬委員長

それでは、次第に従いまして2番、前回会議録の承認について、事務局からお願いいたします。

小島担当課長

今日、お手元に前回10月5日に開催した定例会の会議録をお渡ししました。作成が遅れ申し訳ありませんでした。

次回、12月の定例会において署名をお願いしたいと思いますので、ご確認をお願いいたします。

百瀬委員長

10月の会議録については、次回の委員会で今回の会議録と合わせて署名をとということですが、委員の皆さんよろしゅうございますか。

委 員

異議なし。

百瀬委員長

はい。それではそのようにしたいと思います。

次第3番、教育長報告に入ります。

3 教育長報告

百瀬委員長

はじめに総括的な報告を教育長からお願いいたします。

藤村教育長

先日のPTAとの行政懇談会ですが、こども教育部が出席して行いました。その中で主にいじめの問題について、学校の状況等について事例を含め発表していただいたり、教育委員会のアンケート調査についても理解をしていただきました。いじめの問題は、各学校にアンケート調査をお願いしており、22日までにその結果が上がってくるということになっています。その結果に基づいて教育委員会としても、分析あるいは考察を加えながら、何らかの形で塩尻市の学校の子どもの心の問題を公表しなければならないと考えています。いろいろな面で、教育委員会で検討しなければならないと思いますのでよろしくお願いいたします。

子ども達の心の問題については、読売新聞社が11日、12日に全国世論調査を実施し、結果が出ています。調査は、面接方式で実施され、いじめの背景として8

つの選択肢から選んでいただいたところ、複数回答ですが一番多かったのは親が社会のルールを教えていないが65%、ついで55%が他人痛みを思いやることができない、三番目は52%の親が子どもの悩みを把握できていない、の順でありました。4番目、5番目は、48%の教員の資質に問題がある、45%の学校が責任逃れをして問題を隠す、という結果になっています。家庭の教育の問題も大きな原因になっているとの結果になっています。学校もこれから調査結果を踏まえた指導をしていかなければいけないわけですが、同時に家庭の問題を考えなければならないと思います。家庭は道徳上の学校である、と言われていますが、子どもにとっては最初の学校が家庭で、その家庭の中で人間として成長発達するわけで、家庭ははかりしれない影響力をもっていることは紛れもない事実であろうと思います。したがって、家庭が学校であるならば、教師が父母ということになり、先ほどの調査でも親が社会のルールを教えていない、他人の痛みを思いやる事を教えていない、親が子どもの悩みを把握できていない、と家庭教育力の向上が大きな課題になると思います。

教育委員会として、具体的に何ができるかと考えたとき、早寝早起き朝ごはん読書運動を市民運動としてしっかりやっていくことが、ひとつの具体的な突破口になるのではないかと、家庭力を向上するきっかけになると思っています。家庭教育力の向上を頭の隅に置きながら、こども教育部、生涯学習部をあげて考えていく課題だと思いますので、そんな点について考えていただけたらありがたいと思います。

以上です。

百瀬委員長

ありがとうございました。

○報告第1号 12月の行事予定について

百瀬委員長

それでは、報告第1号について、事務局からお願いします。

小島担当課長

(資料に基づき説明)

- ・ 12月は、市議会定例会があり、来週27日に招集され12月18日最終日まで、委員長の出席をお願いします。
- ・ 22日に、市議会福祉教育委員と学校長との懇談会を予定している。あらかじめ都合を確認せず恐縮だが、ご都合を調整していただきたい。
- ・ 欄外に、卒業式、入学式の日程を記載した。
- ・ 次回は、22日の前段、1時からお願いできたらと考えている。
- ・ 教育長から報告のあったアンケートの報告を協議会でお願いしたい。19日にお願ひできたらと思う。

百瀬委員長

生涯学習部関係をお願いします。

神戸次長

特にありません。記載のとおりです。

百瀬委員長

はい、ありがとうございました。

提案されました次回定例教委育委員会12月22日午後1時、協議会12月19日を含めまして、質疑等ございましたらお願いいたします。

丸山代理

22日は、1時半から創造会議が入っておりまして3時からの懇談会には、中座して出ることができると思います。

百瀬委員長

ほかの委員さんはいかがでしょう。

村田委員

19日は、時間を決めていただけたらありがたいと思います。午前中にしていただけたらと思います。

百瀬委員長

事務局いかがですか。19日は午前中とのことですが。

小島担当課長

19日は、9時半からお願いしたいと思います。

百瀬委員長

協議会は、19日の9時半からで、定例会はどうしますか。

藤村教育長

懇談会は、議会と調整済みになっていますか。

小島担当課長

定例会後に日程のとれる日がない状況です。

百瀬委員長

協議会は、19日の9時半からで、引き続き定例会はできませんか。

小島担当課長

それでお願いできればと思います。

百瀬委員長

それでは、19日の9時半から協議会、引き続き定例会ということでお願いいたします。委員さんは、よろしいでしょうか。

委員

意義なし。

百瀬委員長

それでは、日程については、そのようにお願いします。

○報告第2号 共催後援について

百瀬委員長

報告第2号に移ります。共催後援についてですが、特に説明事項がない場合は、

記載のとおりということで提案していただければと思います。

こども教育部からお願いします。

小島担当課長

(資料に基づき説明)

- ・ 2件は開催済、そのほか2件をお願いします。

百瀬委員長

はい。生涯学習部関係をお願いいたします。

白木課長

(資料に基づき説明)

- ・ 4件は開催済、下の2件をお願いしたい。

百瀬委員長

スポーツ振興課、お願いいたします。

竹原課長

(資料に基づき説明)

- ・ 記載のとおりです。

百瀬委員長

はい。質疑等はよろしゅうございますか。

委員

異議なし。

百瀬委員長

ありがとうございました。それでは次に移ります。

○報告第3号 塩尻市生涯学習プランⅡについて

百瀬委員長

報告第3号、塩尻市生涯学習プランⅡについてお願いいたします。

白木課長

(資料に基づき説明)

- ・ 10月5日の定例教育委員会に案を示し、いただいたご意見により見直した。別添のとおり、前回より見やすくなったと考えている。
- ・ 見直しは、18年から26年度までの9箇年について、市の総合計画との整合性をとり、前期分21年度までのプランを策定した。
- ・ 文化団体、社会教育委員の意見を反映させた。また、パブリックコメント2件をいただいた。
- ・ この案は、16日に市議会全員協議会で意見をいただいた。指標の取り方の根拠、生涯学習部の計画で総合計画の個別計画として絞っているが他の部との連携への対応について意見があった。
- ・ 今後の予定としては、次回定例教育委員会において、議題とし最終決定願いたい。
- ・ 内容をご確認いただき、ご意見をお寄せいただきたい。

百瀬委員長

はい。ありがとうございました。

資料をいただいて、時間がなかったため私も内容をみることはできませんでしたが、委員さんから何かありましたらお願いいたします。

村田委員

前回の時にお願いしたこともありますので、改訂版を見させていただきました。全般的には、見やすくなったこと、いろいろな図表があり概念的に捉えやすいと、いいことだらけですが、指標化については、先週スコップのメンバーが行政評価を取り上げており、ベンチマークの話のなかでわかりやすい指標化がこれからは必須になっていくとありました。ジャストフィットはしないかもしれませんが、ぜひ項目としてあげ、モニタリング、フォローし続けて達成しきるような方向でお願いしたいと思います。

これは構想なので、アクションプランがどんな風になるか気になります。短歌フォーラムと同様の評価や継続性、その場、その場で対応すべき事もあると思います。教育委員の視察で鶴ヶ島市に行ってきましたが、地域環境から生涯教育の進んだところだと聞いています。なにをやるか、どういう風に持っていくかは、上位の総合計画と個別計画の連携の中でつながるものだと思いますし、特に教育問題は底辺を支える重要なものですから、たとえば協働の街づくりをやるための何かとか、市としての大きな目標と教育が連動し連携していただきたいと思います。

百瀬委員長

ほかにいかがですか。

委員

(なし)

百瀬委員長

それでは、12月定例会の議決事項となりますので、その時よろしくお願いたしたいと思います。

ありがとうございました。

○報告第4号 第20回短歌フォーラム in 塩尻参加状況について

百瀬委員長

それでは、報告第4号、第20回短歌フォーラム in 塩尻参加状況について、事務局から説明をお願いいたします。

白木課長

(資料に基づき説明)

- ・ 参加者の数字的な状況について報告する。
- ・ 実行委員会の開催に向けて、明日10時から小委員会を開催し、反省点、意見を求める。
- ・ スタッフを含め約900名の参加があった。
- ・ 男女比では、女性が年々多くなってきているが、前回大会に比べ男性が若干

盛り返している。

- ・ 平均年齢は、年々高齢化していたが、0.08ポイント若返った。
- ・ 新規継続の中では、新規の方々が減っていたが、前年119人、今年が180人とめずらしく増加した。
- ・ 投稿者も微増ではあるが6人増加した。底に落ち、これから増加していくかと期待している。
- ・ 小委員会では、21回以降の持ち方について、特に小中高校生の部の減少状況を加味しながら、短歌、日本語、国語といった見直しをするためにも一般の部と小中高を分けていく考え方、特に投稿締切日が6月であり、学校関係の都合、選者の先生方も10月くらいにもっていけば増えるのではとの意見もあり、そのような提案をしたいと考えている。
- ・ ご意見をお願いしたい。

百瀬委員長

ありがとうございました。質疑等ございましたらお願いいたします。

岡本委員

前にお聞きしたことがあるかもしれませんが、投稿数は第4回から第5回で増えていますね。それが18回、19回では減っている傾向があります。小中高校生の部を見ても同様ですが、千人単位で変化する原因は何かあったのでしょうか。

白木課長

小中高は、たとえば大阪の清風高校とか何千首を一度に出したり、一校でこぞって出したり、ある時期から出なくなったりしています。そういう関係でかなり増減があります。

そして、一般の部の投稿数については、第1回から第5回までは一人2首ということもあります。

それから選者は1回から20回まで続けていらっしゃる方がお二人おられまして、第1回から13回まで斉藤文先生がおられて、馬場先生にお代わりになったときに若干増減があったと思っています。

今回、投稿数が増えたのは、題詠歌も含め一般の2首、なおかつ選者が5人ということもありましたので、21回以降も題詠歌と一般2首まででいったらどうかと小委員会に投げかけをしたいと思っています。第20回大会までお願いしていた武川忠一先生がご退任を表明されましたので、21回大会は選者が変わることで新しい流れが出てくるかとも思っています。

百瀬委員長

選者の交代というようなことも原因になっているわけですね。

白木課長

今回は5人に増えたことで新しく投稿する人が増えたと思いますし、日本歌人クラブが塩尻市で大会を開いていただいたこともかなり影響したと思っています。

岡本委員

第4回から第5回のところで千人近く増えたということも選者の先生が代わった影響でしょうか。

白木課長

それはないですね。最初は、ここにいる神戸次長がNHKとわたりを付けて商業振興を含めて始めていますが、その後、教育委員会の文化行政が担当するようになりました。はじめて全国という銘をうったイベントをやろうとしたのが20年前でありまして、それで人を呼び観光物産や市内への宿泊、市の認知から始まりましたが、短歌と金儲けは合わないとの文化的要素から教育委員会に回ってきてやり出したのがこのころではないかと思います。

村田委員

今回初めて雰囲気を見させていただいて、年代層も独特なものがあると思いました。全国という名前が付いているレベルのイベントとしては素晴らしいと思いますが、逆に全国という名前を付けたこのようなイベントは他の地方にありますか。

白木課長

兵庫県の小野市に上田三四二という歌人がおられて、それが17回目の全国大会ですので、私どもが全国で一番と思っています。特に小野市とでは、お金をかけている点もあります。小野市ほどまで予算を落とさなくても、もう少しお金をかけずに小野市にまさるイベントをどのようにやったらよいかを、市議会議員からもご意見をいただいていますから、検討委員会の中で考えたいと思います。

村田委員

観光行政との関連では、県外からいらした方が247名いますが、この数は少ないのではないかと思います。

白木課長

以前は、事務局で宿のあっせんをしてバスで送迎もしましたが、それがだんだん松本へ泊まって塩尻に来て、みて歩きに参加していただくようになってきています。ただ、みて歩きでは、檜川村と合併し今年は奈良井、平沢を歩かせていただいています。北海道、山口から来ていただいた方からは、こんなにいいなら来年も来たいと言っていておられます。塩尻市内に大勢の方がお泊まりいただいて、お金を落としていただけるかについてはちょっと自信のないところですが、短歌フォーラムのコンセプトが小さな地方都市でも全国に日本の文化や言葉の美しさを発信する一つのイベントに位置づけたいと、ここ2、3年前から変わってきています。それにも選者の先生方からは、そういう方向でいいのではないかと、ただ惜しむらくはもっと塩尻らしさを出したらどうだと、それは暗にNHKありきでなくてもいいのではないかとされていますから、こちらNHKとの距離をおき事務局でやっていくことが、経費節減の大きな要素になっていくのではないかと考えています。

村田委員

インターネットで中継できますよね。

白木課長

そうですね。ですから数年前までは、NHKの全国ネットはどうしても、いくら金をかけてもやるべきではないかというふうなことでしたけれども、昨今のIT関係でいきますとインターネットで配信して見ていただくことでいけばいいんじゃないか、というのがNHKとの距離の置き方にも現れていると思います。

藤村教育長

一番大きいのは、市の品格といいますか、市としての価値をもつ事だと思えます。その一つが全国に発信できる題材だと思えます。そのためには、市民がもう少し短歌に親しむことがこれからの大きな課題だと思っています。これからもいろいろご意見を聞きながら進めたいと思えますが、21回目からまた新たな歩み始めるための一つの課題だと思っています。

丸山代理

教育委員になってから短歌フォーラムに出て、毎年選者の先生の話をして聞いて、短歌の良さが分かるようになりました。短歌フォーラムの良さは、出てみないとわからないのではないのでしょうか。

それから広丘地区の投稿が減ってきているのは、短歌館と短歌フォーラムの相乗効果を考えていかなければならないと思えますし、みて歩きは塩尻市の平出博物館、宿場などの要素を入れながら魅力をアップするよう方向転換ができたらと思えます。

いずれにしても、市民がもっと短歌フォーラムに出ることが必要だと思えました。今年、ご講演された先生のお話もすごくおもしろかったですが、自分の周りで短歌フォーラムに行ったかと聞いてもおりませんので、すごく残念ですしもったいないと思えました。

小中学生、高校生の参加について話がありましたが、短歌フォーラムで一緒にしないということですか。

白木課長

ええ、別にしたらどうだろうかということですが。

丸山代理

そうすると短冊はなくなるわけですか。親たちには、結構人気が高いと思えますが。

白木課長

短歌フォーラムに合わせて選考するためには、6月に締め切らなければなりません。短冊は、短歌フォーラムの前までに出していただければいいわけですから、要は締切を遅らせればいいわけですが。短冊は、やはりお願いしたいと考えています。

丸山代理

選者の方々は立派な方ですので、もう少し短歌フォーラムの全国的な価値をあげることはできないかなと思えます。塩尻の短歌フォーラムに投稿できてすごいね、と言われるようもう少しネームバリューをもっと付けたいですね。皇居で歌会始があります、あのような場に歌を出してみたいというようになったらと思えます。

岡本委員

塩尻市で短歌フォーラムが開催される意味を考えたときに、やはり塩尻市民が短歌を知るべきではないかと思います。投稿者は、県外の方が非常に多いわけですが、いつも短歌に親しんでいる実力のある方がいろいろな機会に投稿していると思います。主人の父も俳句なんですけど、いろいろなところで投稿していて、全然行ったことのないところで賞をとったりすることもありました。私も実際に短歌フォーラムに出てみて、素人が投稿してみてもベテランの方にはかなわないと感じます。また、投稿するにもお金がかかります。少し見方を変えて、本当に市民のために短歌で自分の気持ちを表してみようとか、塩尻市民に限って言えば気軽に年賀状を出すような感覚で市の短歌フォーラムに投稿しましょうというような、別枠で子ども達も、誰でも気軽に出していただけることが、2年に1回とか開催できれば底辺を拡げることができるのではないかと思います。

それと年代からみますと10代から40代の方が確実に少なくなっていて、塩尻市の子ども達は小、中学校と短歌を作った経験があるわけですが、それがあまり活かされていないくて、それだけで終わってしまっていることがとても残念な気がします。私の息子も文学部にいっていますが、大学の授業の中で短歌や俳句をつくる講座もしていますが、短歌フォーラムに出してみたら、と言っても大学生の金銭感覚からは大変に感じるようです。ですから、若い人中心に振興策を設けるとか、工夫すれば違うところからの投稿も集まってくるのではないかと、素人ながら考えてみました。

百瀬委員長

ありがとうございます。私も歌が詠めなくて発言しにくいわけですが、結社に入っているかいないかは、投稿するとき書く欄はないですね。

白木課長

ありません。

百瀬委員長

ですから結社に入っている方は、選者をみてこの選者に出しても私の歌は無理だとか、流儀のようなものが違うと、そのようなことはあるのでしょうか。

白木課長

私どもも、いろいろな会派の先生方がダブらないように選者を選ばせていただいています。先生の好みの作風はあります。岡野先生ですと昔の口語体の歌は好きではないこともあり、あの先生だったら選ばないだろうということはあろうかと思います。ただ、最終選考には名前のみ出しますが、住まい等を含めて一番はじめの選考から最終選考前までは、歌のみで判断していただきますので、会派によって選考されることはないと思いますし、自分の好きな作風を選ばれることはいたしかたないと思います。

百瀬委員長

検討委員会へも今日の会議で出した意見をあげていただければと思います。

それでは、以上で報告事項を終わりにしたいと思います。

4 議 事

○議事第1号 塩尻市トレーニングプラザの指定管理者の指定について

百瀬委員長

続いて日程4番、議事に入りたいと思います。

議事第1号、塩尻市トレーニングプラザの指定管理者の指定について、を議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。

竹原課長

(資料に基づき説明)

- ・ 市議会12月定例会へ議案として提案するもの。
- ・ 市の審査会を経ている。
- ・ 平成16年からの3か年が経過終了するため、10月から募集したところ、申請のあった現在と同じ協会1社を管理者としてお願いしたいもの。
- ・ 指定機関は、3年から5年間に伸びることになる。
- ・ 経営状況は、問題がない。
- ・ 教育委員会として決定していただきたい。

百瀬委員長

ありがとうございました。質疑等ございましたらお願いします。

丸山代理

この3年間に市民からの不具合とか要望とかはありましたか。それから現状はどうですか、5年間なので今まで使っていた駐車場とかが使えなくなりますが、利用者のお考えとか把握されていればお願いします。

竹原課長

塩尻市トレーニングプラザへの要望は、あまりない状況です。ただ、ヘルスパ塩尻として使っておりますので、むしろプールとサウナについての要望、改善要望は多いと思います。市民の皆さんからは、一体とみておりますし、建設、設立経過からも一体として捉えられています。向かって左側の体力づくり指導協会で運営するスポーツプラザの部分には、使い勝手の面でもう少しこのようにして欲しいという要望があります。今日も女性のお客さんから要望がありました。

それから、トレーニングプラザの建物が老朽化し、毎年補修が必要になっており、今年も体育館の床の塗装関係を改修しましたし、17年度は照明装置の改修をしています。また、屋根に雨水がたまるようになってきていますので、ひどくなると心配される面もあります。施設面で市が予算措置しなければならなくなる場面が続いてくると思っています。現在も冷暖房装置の交換をするよう準備しています。

駐車場では、隣にインキュベーション施設が竣工しましたが、そこを駐車場として使ってきましたので、工事が始まってから自家用車の混乱が見られました。関係

する課と協議し、イトーヨーカドーにある市営駐車場の4階を専用等にさせていただくなどの対応をとりました。今は、どうにか落ち着いてきたと言う状況です。

利用者の感覚としては、先ほどもふれましたがトレーニングプラザだけという見方はございませんので、ヘルスパ塩尻として指定管理をしていただいている体力づくり指導協会に一生懸命利用者の声を聞く中でしっかり管理されるようにしていただきたいですし、利用者の意識もそのように変えていかなければならないと思っております。それによって喜んでご利用いただけると思います。

百瀬委員長

ありがとうございました。ほかにございましたらお願いします。

私からですが、この体力づくり指導協会は、元レスリング選手の笹原さんが理事長をしていた団体ですか。

竹原課長

はい。

百瀬委員長

どのような事件でしたか報道がありました。財団法人の状態は現在どのようになっていますか。

竹原課長

新聞紙上をにぎわわしまして、長野県の方に銀行から利子の関係で訴えられているような話があったように聞いています。また、現在の協会と本人とのやりとりの中で、協会の許可を得ずに単独で流用しているというような話しです。

塩尻市が関与している問題ではない、とはっきり言わなければならないと思います。長野県の金融機関とは、すでに話しをつけましたということで動いていますから、こんどの新しい件につきましては、協会とご本人とがどうなっているかというところが財務関係でも影響が出てくる心配される問題だと思います。これにつきましては、協会から直近の報告を受けておりますけど、本人が協会に迷惑をかけないように返済すべきは返済することですが、しかし一括ではないようです。ということで本人と話がまとまりましたので、塩尻市さんにも迷惑をかけましたということで協会から報告がきております。こちらとしては、協会内部のことではありますけれども、大丈夫だろうと思っておりますのでございます。

百瀬委員長

はい、わかりました。

ほかに質疑がないようでしたら、議事第1号につきまして12月の定例市議会の議題として教育委員会としては提案することになると思っておりますがよろしゅうございますか。

委員

異議なし。

百瀬委員長

はい、それではそのように決定させていただきます。

○議事第2号 教育委員会関係補正予算について

百瀬委員長

続いて議事第2号、教育委員会関係補正予算について、を議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。

小島担当課長

(資料に基づき説明)

- ・ それぞれ担当課から説明する。
- ・ 歳入ナンバー1の摘要欄、「木剤」を「木材」に訂正する。県産材の消費拡大を推進する県事業で、大門児童館の内装材に補助が付いた。
- ・ ナンバー2は、補助額の確定による計上した。
- ・ ナンバー3は、新規事業を計上した。
- ・ スクーリング・サポートは、不登校に対応する職員配置への補助で額が確定したので計上した。
- ・ 歳出は、小学校組合負担金は、県の30人規模学級の負担金確定に伴うもの。
- ・ 就学援助費は、それぞれ対象者の増加に対応するもの。
- ・ 全国大会出場補助金は、摘要欄の種目で出場したので増額をお願いするもの。

中島課長

(資料に基づき説明)

- ・ 柳澤運動プログラムについて、松本短大の教授の幼児期の運動が集中力等に効果があるとされているもの。指導に対する謝礼を予算化したが、先生から効果測定部分の謝礼だけでよいとの申し出があり、上田市からの交通費実費と予算の組み替えをお願いするもの。現在は、広丘西、大門保育園で行っている。

竹原課長

(資料に基づき説明)

- ・ プール整備工事は、事業費の確定に伴う補正減
- ・ 10番は、卓球場の屋根改修工事で事業費の確定に伴う補正減
- ・ 8、9番は、資料ナンバー7で追加提案をお願いする研究委員会委員の報酬と費用弁償を追加するもの。

百瀬委員長

はい、ありがとうございました。質疑等ございましたらお願いいたします。

丸山代理

歳出の全国大会等出場補助金ですが、市Pとの懇談会でも出ましたが、規程のようなものはありますか。学校からは、補助をぜひお願いしたいとありましたが、人数の多いところもありますし個人種目で少ないこともあります。どのように補助がされていますか。

小島担当課長

人数による規程は、定めておりません。市P連の懇談会の中でもお話しさせてい

ただきましたが、実態に合わせて保護者負担の軽減を図るべきだろうということがありますので、参加状況によって予算のなかで保護者の負担を下げるよう対応しています。

丸山次長

例年60万円を当初予算で盛っており、足が出たときは補正で対応しています。対象は、北信越大会以上の大会で全国大会まで、場合によっては団体戦で北海道へとなると大変な額になります。補助は、個人負担の2分の1としています。

百瀬委員長

そういう規程があるわけですね。

丸山次長

はい。

百瀬委員長

ほかにありますか。

丸山代理

柳澤先生の運動プログラムについて、先日、茅野市でやっている状況をNHKかなにかで見ましたが、ぜんぜん運動ができない子ども達が、先生が教えることによってできるようになります。けんかがなくなるとか、順番が守られるようになる、読み聞かせも黙って聞ける効果があると、関わっている保育士さんが話していました。すぐに結果が出ることではないと思いますが、ぜひ拡げていただきたいと思います。

中島課長

委員さんがおっしゃるように集中力が出るとか、思いやりがあるとかにも効果があります。今の子どもさんは、家庭で運動する機会がないものですから、転ぶときに手を出さずに顔から転んでしまうというような事があり、保育園の中でもけがが多かったりしています。効果があるということで、諏訪地方でも結構あちこち取り入れていますし、あるいは松本短大ということで市内の保育士もこの先生から学んだ方も多く、個々に勉強にも行っています。そのような方を活用する中で拡大したいと思いますのでお願いします。

百瀬委員長

ほかにありますか。よろしゅうございますか。(なし)

はい、それでは議事第2号、教育委員会関係補正予算につきましては、12月の定例市議会に提案するということよろしゅうございますか。

委員

異議なし。

百瀬委員長

はい、ありがとうございました。議事につきましては、以上で終わります。

5 その他

百瀬委員長

それでは、5番その他に入ります。事務局からなにかありますか。

小島担当課長

追加で1件お願いします。お手元に資料ナンバー7がありますが、スポーツ振興課からお願いするものです。

○その他第1号 塩尻市体育館建設研究委員会設置要領について

百瀬委員長

はい、お願いします。

竹原課長

(資料により説明)

- ・ 市立体育館の耐震調査結果を報告している。
- ・ 今後の体育館をどうしていくか、研究委員会を立ち上げるもの。
- ・ 市長の公約で22年には、新しい体育館を建設することとしている。
- ・ 委員会は、ここで設置要領を定め進めていく。
- ・ 組織は、委員15人いないで市長が委嘱する。公募の委員を含める。任期は、結論づける時期が定かではないため、任務完了までとした。
- ・ 裏面のメンバーは、記載の通り。応募のあった3名を公募委員とした。
- ・ アドバイザーは、記載の者で松本広域消防局員は塩尻消防署長としている。
- ・ 今後、進めていくのでよろしくお願ひしたい。

百瀬委員長

はい、質疑等ございましたらお願いいたします。

岡本委員

メンバーの健康づくり関係者は、どのような方になりますか。

竹原課長

私どもで考えましたのは、体育館で体力、健康づくりをする観点から関係する委員が必要としたもので、具体的には松本大学に新しく健康学科ができますので、その専任講師をお願いしたいと考えています。

村田委員

広く公募する中で職員の方が一番苦勞されていますが、オープンにしたことは対外的には話しは通りますが、その効果があるか、良い成果があったかはわかりません。私もいくつかやらされて何で自分がと思ったこともあり、かつこだけ外から引っぱってくることは、市の職員のやりやすさなのか、市民がそれだけの見識を持っていてプランニングできるのか、もう少し明確にして欲しいですね。なんとなく呼ばれて、あっそうなのということもありますので、うまく成果につなげるようにやって欲しいと思います。

体育館は、直感的に機能とかは分かりますが、町の機能の一つとして捉えたとき

にこの中にそういう事を考えられる人はいるわけですか。

竹原課長

体育館を欲しいという声は、2万人の要望が出されています。あわせて総合的なという要素がありますので、これからいろんな意見が出されると思います。どんな意見が出されるか分かりませんし、その流れで議論しながら進めなければなりません。委員の皆さん方から、いろんなご意見をいただいきたいとしか申し上げられない状況です。

村田委員

わかりました。

丸山代理

市立体育館の耐震工事の話がありましたが、この研究委員会は、新しい体育館の建設について考えていくのか、それとも現在の体育館を含めて両方を考えていくのかどのようになりますか。

竹原課長

耐震の補強工事をするかしないかを含めまして、耐震の結果を示すことからスタートします。その工事をどんどん進めなさい、とするか財政的な部分から待ちなさいとするか、そのような意見を集約しながらということになります。

百瀬委員長

他にはよろしいですか。

委員

(なし。)

百瀬委員長

それでは、設置要領では、市長が委嘱し事務局はスポーツ振興課となりますがよろしいですか。

委員

異議なし。

百瀬委員長

それでは、よろしくお願いします。

その他で委員の皆さんからありますか。

村田委員

先ほどの学校の友達関係について、報告が明日まとまるということによろしいですか。

藤村教育長

学校でまとめたものを集約する事になります。

丸山次長

学校で集約したものを事務局で束ねる事になります。来週までかかってしまうかなと思っています。今日までに2校来ているだけです。

村田委員

山本先生とも話しましたが、学校でまとめるときに情報をロスしないかが一つありますし、マスコミからどうでしたかと問い合わせがあるときには、いじめはありますかとの問い合わせになると思います。9項目の中で、いじめと選別できるものがあつたのかちょっと心配ですが。

百瀬委員長

次の協議会の協議事項にあります、その中でよろしいですか。

村田委員

はい。

百瀬委員長

はい、それでは以上でその他を終わります。

6 閉 会

百瀬委員長

以上で定例教育委員会を終わりにします。どうもご苦労様でございました。

- 午後4時40分に閉会する。

平成19年1月25日

署 名

委 員 長

同職務代理者

委 員

委 員

教 育 長

記 録 職 員 教育総務課
教育企画担当課長
